

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	231交通安全の推進		
施策のねらい(めざす姿)	子どもや高齢者、障がい者を含めたすべての人が安心して快適に通行できる交通環境になっています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	マネージャー氏名	鎗田 淳

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	地域、学校、職場、家庭での交通安全教育や運動を推進する取り組みが必要。	③改革・改善内容	啓発活動の強化。特に高齢者のための安全教室の継続開催。さらに、自転車利用者のための安全教室の開催。
②①に基づく取り組み結果	未就学児童や小中学生を対象とした交通安全教室の開催。高齢者のための安全教室の開催。春の交通安全運動出動式及び秋の交通安全市民大会の開催。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民、交通安全施設	意図(対象をどうするのか)	交通安全意識の高揚、施設整備及び保全
②施策の概要	市民に交通安全に対する啓発を行うとともに、施設に対しては、歩道等整備5箇年計画に基づき、歩行環境の確保に伴う施設設置・維持管理を行うもの。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内の人身事故は減少傾向であるが、市民意識調査における交通安全対策への市民の関心は高い状態にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	啓発活動の実施及び交通安全施設の設置を行った。(その結果、交通事故発生件数発生件数の減少及び交通事故死傷者数の減少した。)							
②施策成果指標	指標名称			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	交通事故発生件数	件	535	487	440	407	
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	人	5.9	5.3	4.6	4.4	
	iii							
③基本事業成果指標	i	交通安全運動及び交通安全教室参加者数	人	4,454	4,659	3,857	5,000	
	ii	道路反射鏡整備・保全個数	基	24	50	26	40	
	iii	道路区画線整備・保全距離	km	10.7	15	6.3	12	
	iv	道路標識・交通看板整備・保全個数	基	20	59	52	50	
	v	交通安全対策満足度	%	—	12.3	—	16.0	
	vi	千葉県交通災害共済加入率	%	4.3	4.2	3.6	4.7	
	vii							
	viii							
	ix							
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算			
事業費(千円)	65,223	61,158	(単位:円)		563円	55,451		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路拡幅による歩道設置には多額の予算と長期にわたる時間が必要なため、安全施設の設置による歩行空間確保の対策箇所は増加が想定される。対策箇所の増加により維持管理費用も増加することが想定される。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	目標を達成していない成果指標があるものの、啓発活動や交通安全施設の設置などにより、交通事故発生件数の減少などの成果が表れている。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	歩道等整備事業		
④上記方向性の説明	歩行者の安全な通行を確保するための市民の関心・要望は高いものがあり、今後も安全施設の設置等による対策は増加が見込まれるため。		